

1. 組合せ作成から公表まで

大会申込み後、組合せ委員会で大会3週間前までに組合せを作成し、関係者にチェック依頼する。
 万一、チェック時に誤りが発見された際は直ちに修正作業を行ない、関係者による再確認を行なう。
 確定後、ホームページで公表を行なう。

2. 団体戦組合せ要領

<p>全日本大学総合卓球選手権大会 (団体の部) 北海道予選 兼 北海道春季学生卓球選手権大会 (団体の部) 兼 会長杯争奪卓球大会</p>	<p>【リーグ戦について】 前年度の秋季大会の結果をもとに各部リーグ表を作成する。 各リーグの構成数が5校以下の場合は1リーグ制、6校以上の場合は2リーグ制とする。 2リーグ制の場合、リーグ戦後、男子については順位決定戦、女子については1位決定戦のみを行なう。 <u>令和6年度より入替戦は廃止し、各リーグ1位は自動昇格、最下位は自動降格とする。</u> ※参加大学減少によるリーグの再編成については、別途内規に基づいて行なう。</p> <p>【代表決定について】 (1) <u>男子団体 (代表3校) ※リーグ数は令和5年度秋季大会を想定。</u> ① <u>1部リーグ戦1位は第1代表、2位は第2代表の権利を獲得。</u> ② <u>『2部リーグ1位』と『3部リーグ1位』が代表決定戦第1試合を行なう。</u> <u>代表決定戦第1試合勝者は『1部リーグ3位』と最終代表決定戦を行ない、勝者が第3代表の権利を獲得。</u></p> <p>(2) <u>女子団体 (代表2校)</u> <u>リーグ戦後、1位は第1代表、2位は第2代表の権利を獲得。</u></p>					
<p>北海道新人学生 卓球選手権大会</p>	<p>原則、インカレ予選の結果をもとに作成するが、各チームの構成員も考慮し、以下の手順で進めていく。 1. 参加数に合わせ、予選リーグ数を決定。 2. 参加チームを第1～4ポッドに分ける。 3. 各ポッドで抽選を行ない、リーグ編成を行なう。</p> <table border="1" data-bbox="575 1196 1005 1383"> <tr><td>第1ポッド</td></tr> <tr><td>第2ポッド</td></tr> <tr><td>第3ポッド</td></tr> <tr><td>第4ポッド</td></tr> <tr><td>∪</td></tr> </table>	第1ポッド	第2ポッド	第3ポッド	第4ポッド	∪
第1ポッド						
第2ポッド						
第3ポッド						
第4ポッド						
∪						
<p>北海道秋季学生 卓球選手権大会</p>	<p>春季大会の結果をもとに作成する。 以降の手順は『北海道春季学生卓球選手権大会 (団体の部)』に基づいて、同様に進めていく。</p>					
<p>ジョブキタ杯争奪納会試合</p>	<p>原則、前年度の納会試合の結果をもとに作成するが、各チームの構成員も考慮し、以下の手順で進めていく。 1. 参加数に合わせ、予選リーグ数を決定。 2. 参加チームを第1～4ポッドに分ける。 3. 各ポッドで抽選を行ない、リーグ編成を行なう。</p> <table border="1" data-bbox="575 1670 972 1840"> <tr><td>第1ポッド</td></tr> <tr><td>第2ポッド</td></tr> <tr><td>第3ポッド</td></tr> <tr><td>第4ポッド</td></tr> <tr><td>∪</td></tr> </table>	第1ポッド	第2ポッド	第3ポッド	第4ポッド	∪
第1ポッド						
第2ポッド						
第3ポッド						
第4ポッド						
∪						
<p>北海道学生卓球連盟 ジョブキタ杯オープン大会</p>	<p>原則、前年度のジョブキタ杯の結果をもとに作成するが、秋季大会、全道高校選抜、全道中学選抜に加え、構成員も考慮する。 以降の手順は『ジョブキタ杯争奪納会試合』に基づいて、同様に進めていく。</p>					
<p>各大会オープン戦の部</p>	<p>原則、1つ前の大会のオープン戦の部の結果をもとに作成するが、各チームの構成員も考慮しながら進めていく。 ※基本的にトーナメント戦とするが、参加数によってはリーグ戦での組み合わせ編成を行なう。</p>					

3. 個人戦組合せ作成共通事項

各大会の作成要領は『下記4.』のとおりとする。

要領に寄り難い場合は、組合せ委員会で検討し、組合せを決定する。

作成は、下記(1)～(4)に基本的に従って行なう。

- (1) 参加人数(組数)が17人(組)以上の場合はトーナメント方式、16人(組)以下の場合はリーグ戦方式とする。
 ※リーグ戦方式の場合は、予選リーグ1位による決勝リーグを行い、シード対象は予選リーグ各2名(組)を基本とする。
 ※8人(組)以下の場合は2リーグ方式、9～11人(組)の場合は3リーグ方式、12～16人(組)の場合は4リーグ方式とする。
- (2) トーナメント表もしくは各ブロックで、大学間の人数構成に偏りが無いこと。8シードまでの配置について、可能な限り準々決勝での同士討ちを避ける。
- (3) 上記を踏まえた上で第3～4シード、第5～8シード、第9～16シード、第17～32シードをそれぞれ抽選で決定する。詳細は下記のとおり。
 ① 前大会の結果に基づき、第1・2シードを割り当てる。
 ② 第3・4シード→第5～8シード→第9～16シード→第17～32シードの順番に抽選し、決定する。
 ③ 抽選する順番は、前大会のランキング順とする。
 ④ 前大会のランキング選手が不参加により空きが出た場合は、そのままランキングを繰り上げる。
 ⑤ 第17～32シードに選手を繰り上げる場合、累計獲得ポイント上位者を繰り上げる。同ポイントの場合は、抽選により決定する。
- (4) 全てのシード決定後、組み合わせソフトにより、全組み合わせを行なう。

4. 個人戦シード組合せ要領

北海道春季学生卓球選手権大会 (個人の部)	男子シングルス 32シードまで決定	女子シングルス 16シードまで決定	男子ダブルス 16シードまで決定	女子ダブルス 8シード又は各リーグ2組
	手順①: 前年度総合ランキング選手(ペア)を順次配置する。 手順②: 全道高体連ベスト8(ダブルスはベスト4)の新1年生をシードを配置する。 手順③: 残りのシード枠は、前年度の秋季大会の結果をもとにシードを配置する。			
全日本大学総合卓球選手権大会 (団体の部)北海道予選 兼 北海道春季学生卓球選手権大会 (団体の部) 兼 会長杯争奪卓球大会	男子シングルス 32シードまで決定	女子シングルス 16シードまで決定	男子ダブルス 16シードまで決定	女子ダブルス 8シード又は各リーグ2組
	手順①: 春季大会の結果をもとにシードを配置する。 手順②: 手順①後、シード枠に余りが生じた場合、残りのシード枠は組合せ委員会により選手(ペア)を選出する。(特にダブルス組替ペア)			
北海道新人学生 卓球選手権大会	男子シングルス 32シードまで決定	女子シングルス 16シードまで決定	男子ダブルス 16シードまで決定	女子ダブルス 8シード又は各リーグ2組
	手順①: 新人戦までの2大会終了時点の総合ランキング順※に選手(ペア)を順次シードに配置する。 ※男子シングルス16位、女子シングルス8位、男子ダブルス8位、女子ダブルス4位まで 手順②: 会長杯ベスト8までの選手(ペア)を順次シードを配置する。 手順③: 獲得ポイントをもとに順次シードを配置する。 手順④: 残りのシード枠は、組合せ委員会により選手(ペア)を選出する。			
全日本大学総合卓球選手権大会 (個人の部) 北海道予選	男子シングルス 32シードまで決定	女子シングルス 16シードまで決定	男子ダブルス 16シードまで決定	女子ダブルス 8シード又は各リーグ2組
	手順①: 会長杯の結果をもとにシードを配置する。 手順②: 手順①後、シード枠に余りが生じた場合、残りのシード枠は組合せ委員会により選手(ペア)を選出する。(特にダブルス組替ペア)			
ジョブキタ杯 北海道学生強化大会	男子シングルス 32シードまで決定	女子シングルス 32シードまで決定	男子ダブルス 16シードまで決定	女子ダブルス 16シードまで決定
	手順①: 前年の強化大会ベスト4の選手(ペア)→当年度総合ランキング4位(全日学予選終了時点)までの選手(ペア)→ →全道高体連ベスト8の選手(ペア)→前年の強化大会ベスト8の選手(ペア)→ 当年度総合ランキング8位(全日学予選終了時点)までの選手(ペア)→ 当年度総合ランキング16位(全日学予選終了時点)→前年度北海道選手権(高校生限定)ベスト8の選手(ペア) までの選手を順次シードに配置する。 手順②: シード枠に余りが生じた場合、大学生は全日学予選の結果、高校生は組合せ委員会で選手(ペア)を選出する。 ※可能な限り大学生と高校生が対戦するように組合せを作成すること。			
ジョブキタ杯 北海道秋季学生 卓球選手権大会	男子シングルス 32シードまで決定	女子シングルス 16シードまで決定	男子ダブルス 16シードまで決定	女子ダブルス 8シード又は各リーグ2組
	手順①: 全日学の結果をもとにシードを配置する。 手順②: 手順①後、シード枠に余りが生じた場合、残りのシード枠は組合せ委員会により選手(ペア)を選出する。(特にダブルス組替ペア)			
ジョブキタ杯争奪納会試合	男子シングルス 32シードまで決定	女子シングルス 16シードまで決定	男子ダブルス 16シードまで決定	女子ダブルス 8シード又は各リーグ2組
	手順①: 前年の納会試合ベスト4の選手(ペア)→当年度総合ランキング4位までの選手(ペア)→ 当年度総合ランキング8位までの選手(ペア)→前年の納会試合ベスト8の選手(ペア)→ 当年度総合ランキング16位までの選手を順次シードに配置する。 手順②: シード枠に余りが生じた場合、秋季大会の結果をもとに組合せ委員会により選手(ペア)を選出する。 ※可能な限り学生とOBが対戦するように組合せを作成する。			
小中高大強化試合	男子シングルス	女子シングルス	北海道卓球連盟による強化も兼ねているため、「北海道卓球連盟強化委員会強化委員長、大学生担当、高校生担当、中学生担当、小学生担当」で決定する。	
北海道学生卓球連盟 ジョブキタ杯オープン大会	男子シングルス 32シードまで決定	女子シングルス 32シードまで決定	男子ダブルス 16シードまで決定	女子ダブルス 16シードまで決定
	手順①: 前年のジョブキタ杯ベスト4の選手(ペア)→当年度総合ランキング4位までの選手(ペア)→ 北海道選手権・全道高体連(選抜ダブルス含む)・全道中体連ベスト8の選手(ペア)→ 前年のジョブキタ杯ベスト8の選手(ペア)→当年度総合ランキング8位までの選手(ペア)→ 当年度総合ランキング16位までの選手を順次シードに配置する。 手順②: シード枠に余りが生じた場合、秋季大会の結果をもとに組合せ委員会により選手(ペア)を選出する。 ※可能な限り大学生と中・高校生が対戦するように組合せを作成すること。			

5. 個人戦ポイント制

ポイントは、下記4大会を対象とする。

北海道春季学生卓球選手権大会（個人の部）

全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）北海道予選 兼 北海道春季学生卓球選手権大会（個人の部） 兼 会長杯争奪卓球大会

全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）北海道予選

ジョブキタ杯北海道秋季学生卓球選手権大会

各大会のポイント付与については下表のとおりとする。

	男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス
優勝	6	5	5	4
準優勝	5	4	4	3
ベスト4	4	3	3	2
ベスト8	3	2	2	1
ベスト16	2	1	1	0
ベスト32	1	0	0	0

付与されたポイントは、年間ランキングの決定及び組合せ作成時の参考を使用する。

※リーグ戦方式の場合、決勝リーグに残った選手（ペア）にのみポイントを付与する。

6. 各種大会ランキング決定方法

- ・ランキング委員会を開いて、決定する。
- ・ランキング委員会のメンバーは、副審判長（技術委員長）・幹事長・副幹事長・技術委員1名（女子）・理事長或いは副理事長を含む6名により、構成する。
- ・決勝が開始した直後に検討資料が揃った時点で、可能な限り早やかに開催する。

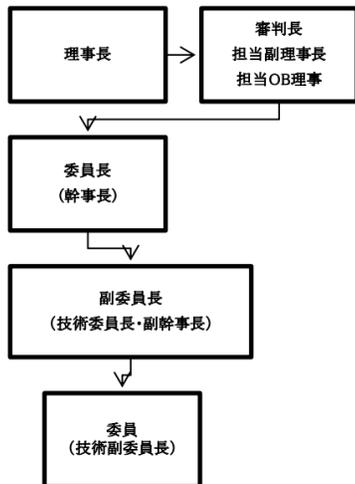
参考データの優先順位

- (1)直前の試合内容
 - ゲームの得失点比率
 - ポイントの得失点比率
- (2)次前の試合内容
 - ゲームの得失点比率
 - ポイントの得失点比率
- (3)前年度のランキング、シード順位
- (4)他の試合内容および上位シード者との試合内容を考慮し、それでも点数が同じ場合は抽選とする。

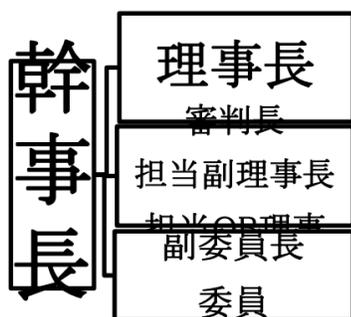
7. 年間総合ランキング決定方法

- ・総合ポイントが高い順にランキング付けをする。
- ・総合ポイントが並んだ場合は、①秋季大会②全日学予選③会長杯④春季大会の成績に遡り、ランキング付けをする。

8. 組み合わせ委員会



9. 組み合わせチェックの流れ



10. 組み合わせ委員会 構成員 (令和6年度4月1日現在)

理事長	審判長	委員長	副委員長
藤倉 健太	善部 政和	竹内 優斗 (幹事長)	張石 紗帆 (技術委員長)
	副理事長	学連役員	委員
	工藤 義久	奥村 勇斗 (副幹事長) 三嶋 哲平 (副幹事長) 大石 泰輝	櫻庭 巧海 (技術副委員長)
	OB理事	川浪 一真 小森谷 杏理 島田 龍 富岡 知佳 福田 哲郎 水澤侑太郎	
	鎌田 真史		
1名	3名	10名	2名